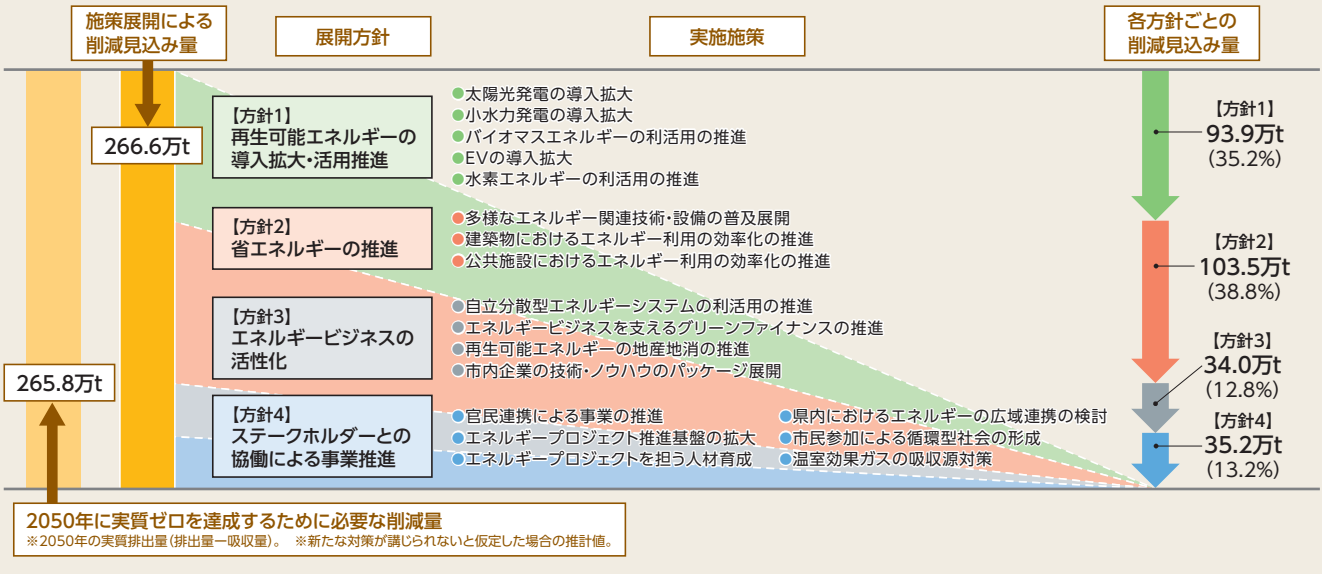


富山市地球温暖化対策推進計画

● 施策展開による温室効果ガスの削減効果(2050年イメージ)



2050年の未来へ向けて「ゼロカーボンシティ」の実現へ

近年、国内外でのゼロカーボンの実現に向けた機運が高まる中、本市におきましては、2050年の温室効果ガス排出実質ゼロを目指し、令和3年3月に「ゼロカーボンシティ」を表明するとともに、令和5年3月に「富山市地球温暖化対策推進計画」を策定しました。

本計画では、2050年の目標を達成するために、①再生可能エネルギーの導入拡大・活用推進、②省エネルギーの推進、③エネルギービジネスの活性化、④ステークホルダーとの協働による事業推進、の4つの基本方針を掲げ、脱炭素に資する取り組みを推進していきます。

さらに、地球温暖化防止には市民・団体・事業者・行政がそれぞれの役割を果たし、連携・協力して推進することが重要であり、行動を市民全体に広げる取り組みとして「チームとやまし」事業を推進し、市民総参加の行動として温室効果ガス削減を目指しています。

● 自転車市民共同利用システム「アヴィレ」

<https://www.cyclocity.jp/>

市内各所に設置された「ステーション」から、24時間年中無休で自由に自転車を利用し、任意のステーションに自転車を返却することができるレンタサイクル。環境にやさしい自転車による公共交通として、ヨーロッパを中心に普及しています。富山市では、民間事業者により運営されています。



● チームとやまし

<https://www.team-toyama.jp/>



平成20年6月、「とやまがかえる。みらいをかえる。」を合い言葉に、温室効果ガス削減の成果を上げていくことを目的とした「チームとやまし」推進事業の取り組みがスタート。家庭・企業・団体などが自主的にチームを結成し、「チームとやまし」のメンバーとなって具体的な地球温暖化防止行動とその目標を掲げ、環境家計簿の活用やイベント参加など様々な活動を行います。

※令和6年2月1日現在1,640チーム(28,183人)加入



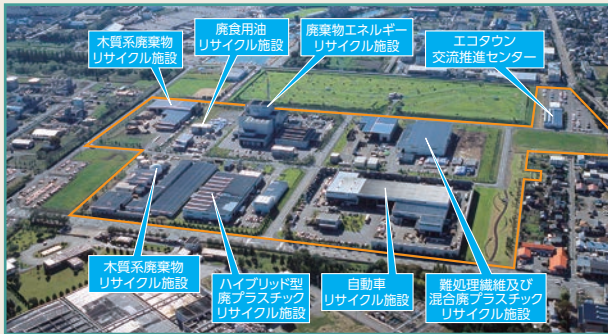
● 水素エネルギーの利活用に向けた取り組み

利用段階において二酸化炭素を排出しないことから、環境負荷の少ない次世代エネルギーの一つとされている水素の普及を推進しています。次世代エネルギーパークに認定されているFCV(燃料電池自動車)用の水素ステーションが市内2カ所に設置されているほか、令和5年度には、水素エンジントラックの実証走行が行われました。また、イベントでのFCVの展示やFCVを導入される方への導入費用補助を行うなど、水素エネルギーの普及啓発に向けた様々な取り組みを行っています。

## 次世代エネルギーパーク

平成24年1月、富山市は再生可能エネルギー設備や体験施設などを整備した都市等を認定する「次世代エネルギーパーク」に北陸で初めて認定されました。小水力や太陽光、バイオマス等の再生可能エネルギー施設をひとつのエネルギーパークとみなし、連携を図りながら小中学生の環境学習や、市民のエコツアーなどの様々な啓発事業に取り組んでいます。

### 1 エコタウン産業団地



環境にやさしい循環型のまちを目指し、省エネルギー、廃棄物のリサイクルなどによる資源循環型社会を築くため、「富山市エコタウンプラン」を推進しています。エコタウン産業団地内では、生ごみ及び剪定枝のリサイクル施設やハイブリッド型廃プラスチックリサイクル施設など7つの民間事業者が操業しています。(面積：約18ha 平成14年5月事業開始)



### 2 水素ステーションとやま



令和2年3月に北陸初の商用ステーションとしてオープンしました。富山県内で製造した副生水素を精製し、燃料電池自動車に水素を供給します。

### 3 とやま南水素ステーション



令和5年4月に商用ステーションとしてリニューアルオープンしました。供給する水素の一部を、再生可能エネルギー(太陽光)で発電した電力を使って製造しています。

### 4 富山太陽光発電所



約3万m<sup>2</sup>の敷地に4,815枚の太陽光パネルを設置し、発電出力1,000kWで年間約100万kWh(約250世帯分の年間電気使用量)を発電します。

### 5 営農サポートセンター



小水力や太陽光、地中熱などを利用した設備を一体的に整備し、再生可能エネルギーを「見える化」して、農業者等に体感してもらおうショールームとすることで、再生可能エネルギーの普及展開や農村地域の脱炭素化に繋げていくことを目指しています。

### 6 木質ペレット製造施設



木質ペレットとは間伐材などを固形燃料化したもので、燃焼時に大気中のCO<sub>2</sub>を増加させることがないため、森林資源の有効活用や地球温暖化防止に役立っています。生産された木質ペレットは家庭や公共施設のペレットストーブや温水プールの加温用ボイラーなどに利用されています。

### 7 小水力発電所



常願寺川を水源とする常西合口用水において、2カ所の小水力発電を整備しました。2カ所合わせた最大出力は、97.9kWで年間71.73万kWh、約200世帯分の年間電気使用量を発電します。

### 8 牛岳温泉植物工場



温泉熱等を活用した完全人工光型植物工場を整備し、薬用植物「エゴマ」の生産・加工・販売までを一体的に行う農業の6次産業化を推進しています。



## コンパクトなまちづくり

富山市では、人口減少や超高齢社会の到来など都市を取り巻く課題に対応し、将来世代に責任が持てる、快適で持続可能な都市を実現するため、公共交通を軸としたコンパクトなまちづくりを推進しています。

そのリーディングプロジェクトとして平成18年4月には富山ライトレールが開業し、平成21年12月には市内電車環状線の開業、平成27年3月には市内電車の富山駅乗入れを開始しました。

さらに、令和2年3月には、本市が進めるコンパクトなまちづくりの一つの到達点である路面電車南北接続事業が完成し、これまで鉄道で分断されていた富山駅南北の市街地の一体化が図られるとともに、富山駅を中心とした全長約15kmのLRTネットワークが形成されました。

## ● 路面電車南北接続事業

路面電車南北接続事業は、富山駅南側の市内電車と北側の富山港線を富山駅の高架下に新設する停留場で接続するものです。第1期事業として、平成27年3月の北陸新幹線の開業に合わせて、富山駅南側を運行する市内電車の新幹線高架下への乗り入れを開始しました。第2期事業は、富山駅北側の富山港線を平成31年3月に完成した在来線の高架下まで延伸するもので、令和2年3月に富山駅南北の路面電車がつながりました。これにより、新幹線や在来線から路面電車へのスムーズな乗り換えが可能となり、富山駅における交通結節機能が大幅に強化されるとともに、本市の北部地域から中心市街地へ乗り換えなしで直接アクセスすることが可能になるなど、路面電車の利便性が飛躍的に向上しました。



## ● 富山市の目指すコンパクトなまちづくり

### 富山市が目指すお団子と串の都市構造

都心部だけではない全市的に行うコンパクトなまちづくり

「串」

一定以上のサービス水準の公共交通

「お団子」

串で結ばれた徒歩圏



## 公共交通の活性化による まちなかの賑わい向上

北陸新幹線整備と在来線の高架化に合わせた路面電車南北接続や駅前広場整備により、富山駅に結節する鉄道や路線バスなど公共交通の乗り継ぎが便利になり、富山駅の交通結節機能が大幅に向上しました。また、市内電車の環状線化や南北接続事業をはじめとする公共交通の活性化や、ブランドプラザやTOYAMAキラリなどの整備を進めてきたことが呼び水となり、富山駅周辺や平和通り周辺地区においては、民間投資による再開発事業が相次いで行われています。こうしたことにより、居住誘導区域内である中心市街地と公共交通沿線居住推進地区が人口増となるなど、公共交通の活性化が人口増や賑わいの創出に大きな効果をもたらしています。



## AIオンデマンド交通システム事業

将来に向けた持続可能な移動手段を確保するため、「AIオンデマンド交通(予約配車)システム」を市営コミュニティバス大庄循環線のエリアに導入しています。令和6年度からは上滝・月岡地区で新たに停留所を12カ所設置し、更なる利便性向上を図っています。



## 自動運転実証実験事業

郊外や中山間地域における生活の足となる交通手段の確保や、バス運転手不足の解消などに向けて、最先端技術を活用した持続可能な公共交通サービスを提供するため、婦中地域朝日地区において、レベル2の技術を活用した自動運転車両の実証実験を行っています。実証データや利用者・地域住民へのアンケート調査などによる効果検証を踏まえ、自動運転サービスの今後の展開を検討します。



## グリーンスローモビリティ運行事業

ラストワンマイルとして市民の交通手段の確保や観光地を回遊する新たな移動手段として、環境にやさしく低速で安全なグリーンスローモビリティを導入しています。富山駅北地区では、賑わい創出や回遊性の向上のため、バスタイプが民間主体で令和5年8月から本格運行を開始しています。郊外部等では、交通手段を確保するため、駆動力があり小回りの効く、ランドカータイプで社会実験を実施しています。



# 「文化」と「産業」が響き合う「ガラスの街とやま」。



## ガラスをテーマ とした街づくり

昭和60年度から「ガラスの街とやま」を目指して、ガラス文化を担う人材の育成やガラス作家の定住・定着支援、「富山ガラス」のブランド化など、様々な事業を展開しています。

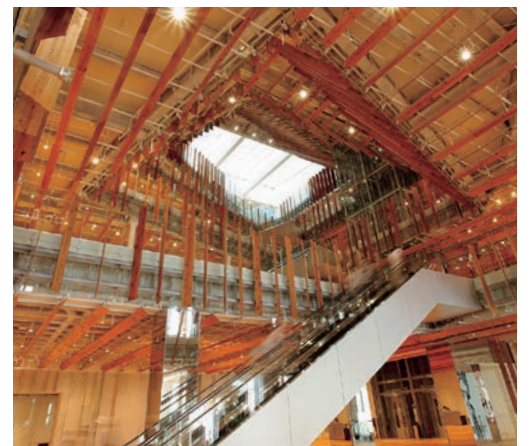
また、平成24年9月には、ガラス関連施設が集積する「グラス・アート・ヒルズ富山」において、体験機能やイベント機能を充実させた「富山ガラス工房第2工房」がオープンし、平成27年8月には、「富山市ガラス美術館」が開館しました。

これらの事業により、多くの市民がガラスに親しむことが出来るとともに、ガラス造形研究所の卒業生やガラス工房の作家等の国内外での活躍などもあって、富山のガラスは全国的にも知名度を高めています。

### 富山市ガラス美術館

<https://toyama-glass-art-museum.jp>

「ガラスの街とやま」の中核施設となる本美術館は、市が所蔵する現代ガラス作品の展示や、ガラス芸術を中心とした展示会の開催を通じて、多くの人々にガラス美術の魅力や楽しさを体感していただけます。世界的な建築家の隈研吾氏が設計を手掛けた建物は、御影石、ガラス、アルミの異なる素材を組み合わせ、表情豊かな立山連峰を彷彿とさせる外観となっています。また、内部は富山県産材のルーバー（羽板）を活用した温もりある開放的な空間となっています。



### グラス・アート・ガーデン

ガラス美術館6階「グラス・アート・ガーデン」には、現代ガラス美術の巨匠デイル・チフリー氏によるインスタレーション（空間芸術）作品を展示しています。チフリー氏の代表的なシリーズである「パルシャン」や「フィオリ」など5つのインスタレーション作品と、パネル作品を観覧できます。

Dale Chihuly, *Toyama Mille Fiori*, 2015,  
H280×W940×D580cm,  
Toyama Glass Art Museum,  
©Chihuly Studio. All rights reserved.



## 富山ガラス工房 第2工房

「ガラスの街とやま」を身近に感じてもらうため、「富山ガラス工房 第2工房」では、吹きガラスや季節ごとの特別コースなど、様々な制作体験を楽しむことができます。イベントも充実させており、約70席設けた観覧席から、プロのガラス作家の実演を間近で見ることができます。



富山ガラス工房は、ガラス工芸の技術者養成と創作活動を通じてガラス工芸品を富山の新しい産業として定着させることを目的に平成6年に設置されました。富山独自のガラス素材の研究や建物の様々な空間での活用などを通して、ブランド化を推進しています。



### ガラス工芸品

富山ガラス工房のオリジナル色として開発した「富山曼茶羅彩」



### ガラス工芸品

ブランド化事業の一環として開発した  
〈富山アイコニック®〉

2019年、富山で活躍するガラス作家の有志が集まり、日本発のラグジュアリーブランドとして開発されました。

## ● 富山ガラス造形研究所

平成3年に全国初の公立のガラス専門教育機関として設立された富山ガラス造形研究所では、富山のガラス文化を担う優れたガラス作家の育成に取り組んでいます。充実した設備と一流の講師陣は世界的にも高い評価を受けており、高い専門技術を身に付けた卒業生たちが、ガラス業界の様々な方面で活躍しています。



### アーティストインレジデンス事業

国内外で活動するガラス作家を公募し、その中から選ばれた作家が富山に滞在、作家と「ガラスの街とやま」の双方の魅力を発信しています。

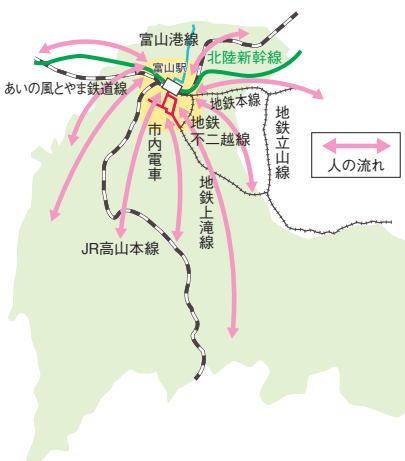
# 活気にあふれ、多様な暮らし方を実現させるまち。



## 地域特性を活かした 都市機能の集約

中心市街地への公共交通の利便性を高めることで、就業、買い物、文化、レクリエーションの場、居住の場を複合的・集約的に立地することにより、活力と魅力ある「都市の顔」を形成していきます。

また、豊かな自然や地域の個性・特性を活かすとともに、地域の核となる地域生活拠点での日常生活に必要な機能やサービスの維持・集約と公共交通の充実により、市民が安心して暮らせるまちづくりを進めます。



### トランジットモール社会実験(大手モール)

道路空間を活用した賑わい創出を目的として、多様なイベントを実施するとともに、日本初のLRT区間によるトランジットモール社会実験を実施しています。車両の通行を制限し、路面電車と歩行者のみが通行できる自由な空間の中、大手モール周辺には多くの人を訪れています。

### まちなか居住推進事業

まちなかの賑わいや活気の源となる定住人口を増やすため、まちなか居住推進事業を推進しています。市民が良質な住宅の建設や購入をした場合には1戸につき50万円を上限に補助し、また、居住者の増加を伴うリフォーム工事に対する補助や、賃貸アパート等に住む場合の家賃補助などを行っています。さらに、一定条件を満たした共同住宅等を建設した事業者には1戸につき50万円を上限に補助を行っており、こうした共同住宅の建設や住宅取得の促進を積極的に行うことにより、平成20年にはまちなか人口の転入数が転出数を上回り、以降は転入超過が継続しています。



### おでかけ定期券

市内在住の65歳以上の方が市内各地から中心市街地へおでかけになる際に、9時から17時の間に降車すれば、地鉄路線バス、地鉄電車、市内電車(富山軌道線・富山港線・環状線)、フィーダーバス、まいどはやバスを100円で利用できる定期券です。また、おでかけ定期券を提示することで、中心市街地にある約60の協賛店で商品の割引や、約30の市施設を半額(一部無料)で利用できるなど、様々な優待サービスを用意しています。令和5年12月末現在、申込者数は20,935人で、要介護者を除く65歳以上の高齢者の約20%が申込、1日あたり約2,085人が利用しています。



## 歩きたくなるまちづくりの推進(「とほ活」の取り組み)

富山市では、歩くライフスタイルがもたらす、健康づくりやまちづくりの効果に注目し、富山で歩く生活=「とほ活」の取り組みを進めています。

「とほ活」アプリは、歩くライフスタイルにつながるきっかけづくりを目的とした、スマートフォンを活用したアプリです。歩いた歩数や公共交通の利用、ウォーキングなどのイベントに参加した場合などにポイントがもらえ、貯めたポイントに応じて素敵な賞品がもらえる抽選に応募することができます。



## AIカメラ等によるスマートプランニング事業

富山駅周辺や中心商店街周辺の28カ所に52台のAIカメラを設置しています。AIカメラでは、365日計測を実施しており、歩行者の通行量や性別、世代、滞留状況を解析しています。解析したデータを用いて中心市街地の活性化の検証を行うとともに、解析結果をオープンデータとすることで市民や民間事業者にも活用いただき、まちなかの新たな取り組みや官民共創事業へとつなげていきます。



## 官民共創によるまちづくり

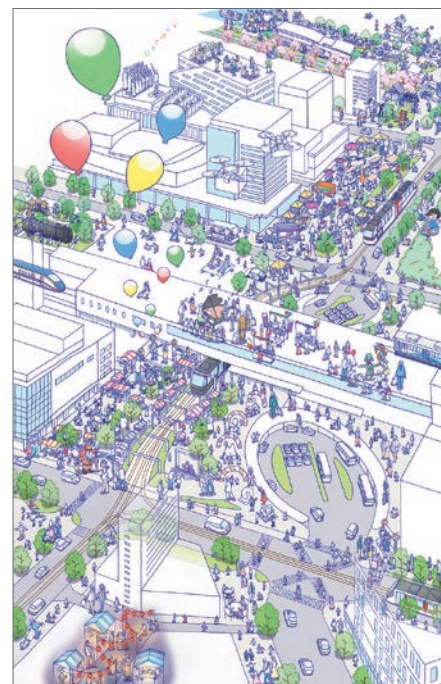
富山市の中心に位置する富山駅は、令和の時代を迎え、南北自由通路の開通や路面電車の南北接続により、人の流れが劇的に変化しました。こうした変化を契機に富山駅周辺エリアでは、行政だけでなく、民間事業者やこれからの富山市を担う若い世代からも、どのようにまちが成長していくのか期待が膨らんでいます。

そこで、本市も参画しながら、令和5年3月に民主導により未来ビジョン「トヤマチ∞ミライ」が策定され、令和5年8月にはまちづくり団体「トヤマチ∞ミライ ユナイテッド」が設立されました。

本市としても未来ビジョンの考えに賛同し、民間事業者・市民と共に、富山駅周辺エリアの持続的な賑わいの創出や発展のために、互いに情報共有・情報発信等の連携を図り、居心地よく愛される空間を目指します。また、富山駅周辺エリア以外においても、市民や民間事業者とが取り組まれる事業に対し、本市が伴走支援を行うことで、更なる賑わい形成を目指していきます。



トヤマチミライ





# 快適に暮らせるコミュニティが生まれるまち。



### ▲産後ケア応援室

産後のお母さんの心身の回復と、お子さんとの新しい生活を安心して過ごすことができるようサポートします。

### ● まちなか総合ケアセンター

<https://machinaka-care.city.toyama.lg.jp/>



富山市まちなか総合ケアセンターには、産後の母子をサポートする産後ケア応援室や、まちなか診療所、病児・病後児保育を行う病児保育室などがあります。また、まちなかサロンでは、毎日多くの市民が訪れ、健康講座や運動、創作等を通じて交流しています。



### ▲まちなか診療所

地域の在宅医のサポートを通じ、かかりつけ医を中心とした在宅医療を推進するための診療所です。

## 健康で健全に暮らす まちづくり

近年、核家族化の進行や、地域のつながりの希薄化等により、子どもたちを取り巻く環境は大きく変化しています。そこで、富山市では、市内7カ所の保健福祉センターで妊娠期から子育て期にわたるまで切れ目ない支援を行っています。さらに、市内16カ所の子育て支援センターでの専門職員による子育て相談や、市内の小学校区(62カ所)での学童保育である地域児童健全育成事業など様々な子育て支援施策を実施し、子育て環境の充実を図っています。

また、パワーリハビリテーションをはじめ高齢者の生活機能の維持や健康寿命を延ばす取り組みに力を入れています。

富山市まちなか総合ケアセンターでは、産後ケアや病児保育、こども発達支援のほか、在宅医療を提供するまちなか診療所など、市民の皆さんが安心して健康な生活が営めるよう、一元的・包括的にサービスを提供します。

子どもからお年寄りまで、市民一人ひとりが豊かで快適、安全に暮らすため、福祉の充実や地域コミュニティの再生などに行政と各地域が連携し、特色のある様々な施策を実施しています。

### ● 子育て支援センター

市内16カ所に設置され、0歳から就学前までの子どもが利用できます。親子で遊びながら仲間づくりや子育ての情報交換をしたり、保育士に子育ての相談ができるほか、定期的に行っている子育てに関する講習・講座に参加したりすることができます。



### ● 介護予防の拠点

#### 「角川介護予防センター」愛称『ほっとねす角川』

全国初の温泉水を活用した介護予防を専門に行う施設です。医師や専門スタッフが運動プログラムを作成し、多機能プールでの水中運動やパワーリハビリテーションなどを提供することで、虚弱高齢者等の介護予防及び健康増進に努めています。



## こどもまんなか応援サポーター宣言

「こどもたちのために何がもっともよいことを常に考え、こどもたちが健やかで幸せに成長できるような社会を実現する」という「こどもまんなか」の趣旨に賛同し、「こどもまんなか応援サポーター」として「子育て日

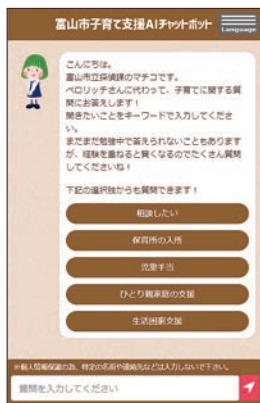


本一とやま」を目指して取り組んでいくことを宣言しました。



## 子育て支援AIチャットボット

24時間365日、AIが子育てに関する問い合わせに答えます。市役所や施設が閉まっている夜間や休日にも、スマートフォン等から気軽に質問することができます。英語や中国語（簡体字、繁体字）、韓国語、ポルトガル語など7つの言語に対応しています。



## インクルーシブ遊具

城川原公園では、障害のある子どもも障害のない子どもも、障害の有無にかかわらず一緒に遊ぶことができる遊具を整備しています。介助者や友達と一緒に滑ることができる幅の広い滑り台や、車椅子のままでも楽しめる複合遊具などがあります。



## パパママセミナー

夫婦が妊娠・出産・子育てに関する正しい知識を学んだり、赤ちゃんの抱っこや沐浴等の体験を通し、これから迎える出産や子育てに家族で協力して取り組んでいただくためのセミナーを、保健福祉センター等で開催しています。



## 母子健康手帳アプリ 「育さぽとやま」by母子モ

「育さぽとやま」by母子モは、妊婦さんや育児中の皆さんを応援する、スマートフォン向けのアプリです。予防接種のスケジュールを管理したり、子どもの身長・体重を自動でグラフ化し、家族で共有することもできます。



## 地域児童健全育成事業(子ども会)・放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)

留守家庭の児童に対し、放課後の小学校の空き教室等を利用した子ども会(市内62カ所)や社会福祉法人などの民間事業者が運営する放課後児童クラブ(67カ所)にて遊びや家庭に代わる生活の場を提供しています。



## ひとり親家庭学習支援

ひとり親家庭の中学生・高校生に対し、学習習慣や基礎学力の定着のため、学習支援を行っています。



# 子どもたちがいきいきと学び感動を育むまち。



## ICT活用推進事業

国が示した「GIGAスクール構想」の実現に向けて、令和2年度に一人1台端末の配備と校内無線LAN環境の整備を完了しました。ICT機器等の活用により、子ども一人一人の興味・関心やペースに合わせた「個別最適な学び」が実現されるよう授業改善に取り組んでいます。ICT教育やプログラミング教育の推進により、次世代を担うデジタル人材・クリエイティブ人材の育成を図ります。

## 学び、感動して 成長する環境づくり

小・中学校の改築や耐震補強、エアコン設置、全トイレの洋式化を進めるなど、子どもたちがいきいきと学び健やかに育つ教育環境の充実を図っています。

また、学校や地域の特色を活かした、多様で個性的な教育を展開するため、学校の裁量を拡大し、学校が自主的・活動的な創造性にあふれる学校経営を行うことができるように支援しています。

さらに、子どもたちが自然科学に触れる機会を増やし、感動しながら育つよう、様々な事業に取り組んでいます。

## PFI手法による学校整備事業

設計・建設・維持管理について民間の資本やノウハウを取り入れたPFI手法による学校整備事業を実施し、平成20年度には統合校として小学校1校、小中学校一体型校舎1棟を、平成22年度には、分離校として1校が開校しました。令和4年度には、新たに統合校として八尾中学校が開校しました。このほか、令和8年度に水橋地区の小中学校を統合した富山市初の義務教育学校「水橋学園」を開校するため、現在、整備を進めています。



統合校として新たに開校した八尾中学校



令和8年4月の開校を目指し整備を進めている水橋学園（イメージ図）



## 元気な学校創造事業

学校が自主的・活動的で、元気と創造性にあふれる学校運営を行うため、学校の裁量を拡大した事業実施形態を取り入れています。

地域の方々から地元特産野菜の栽培や伝統産業を学んだり、小規模校同士で交流し多様な価値観に触れたり、児童生徒が意欲にあふれた学校生活を送れるよう、各学校で創意工夫して特色ある教育活動に取り組んでいます。



## 立山登山

子どもたちが北アルプスの雄大な自然に触れる機会を創出するため、学校、PTA及び社会教育団体等が立山登山または立山周辺の散策活動を行う際の費用を助成しています。



**富山市立図書館** <https://www.library.toyama.toyama.jp/>

「みんなに本を 地域に図書館を」を基本理念として、25の図書館を市内全域で運営しています。

中でも中心市街地に立地する本館(TOYAMAキラリ内(P6-2参照))は、読書や情報の拠点であるにとどまらず、各種イベントを開催し、まちなかの「にぎわい交流拠点」として市民に親しまれています。

また、本館には閲覧室やWi-Fi環境が整備され、観光やまちづくり、路面電車関係の資料も充実しています。



**富山市科学博物館** <https://www.tsm.toyama.toyama.jp/>

県内で発見された恐竜足跡化石やクジラの骨格標本、ダイヤモンドダスト発生装置などの多彩な展示を通して、変化に富む富山の自然や地形の成り立ち、人と自然との関わりを、楽しみながら学べる博物館です。

プラネタリウムでは、美しい星空と迫力ある宇宙映像が楽しめます。



**孫とおでかけ支援事業**

高齢者の外出の機会を促進するとともに、世代間交流を通じて家族の絆を深めるために、祖父母と孫(ひ孫)と一緒に科学博物館やファミリーパークといった対象施設に来館された場合に観覧料等を全額減免し、地域の文化や歴史、科学への関心を幅広い年齢層に広めることなどを目的として実施しています。



**とやまこどもプラザ**

「とやまこどもプラザ」は、こども図書館と子育て支援センターが一体となった施設です。親子で本を楽しんだり、子育てに関する相談や保護者同士の交流・情報交換などができる場となっています。



**富山市ファミリーパーク**

<https://www.toyama-familypark.jp/>

呉羽丘陵の豊かな自然の中に位置する動物園です。世界の希少な動物や、郷土の動物を中心に94種762点(令和6年1月31日現在)の動物を飼育・展示しています。

ニホンライチョウの保護増殖事業のほか、令和4年には熱帯鳥類館「バードピア」がオープンし、ヨウム繁殖プロジェクトにも取り組んでいます。

また、小動物とのふれあいや乗馬体験、自然体験などの環境教育を通じて「命の大切さ」を伝えています。



# 多様性ある産業構造を活かし 安心して働くことができるまち。



## 製薬工場

製薬業は、全国でもトップクラスの生産高を誇ります。

## 富山イノベーションパーク



市内に30カ所ある企業団地には、医薬品製造をはじめ工業用ロボット製造、IT関連企業などが操業しています。

## 将来を見据えた 様々な取り組み

富山市の製造業は、医薬品、産業機械、精密電子部品、精密機械部品などを製造する多種多様な企業で構成されています。

大きく変化している社会経済情勢のなか、将来にわたって富山市への投資を呼び込み、地域経済の活性化と安定した雇用の確保のため、企業団地の整備や融資制度の充実など様々な施策に取り組んでいます。

また、農業や水産業分野においても、将来を見据えた特色ある施策を行っています。

## 産業用ロボット

産業用ロボット、半導体、精密部品などのメーカーが富山市の製造業を支えています。



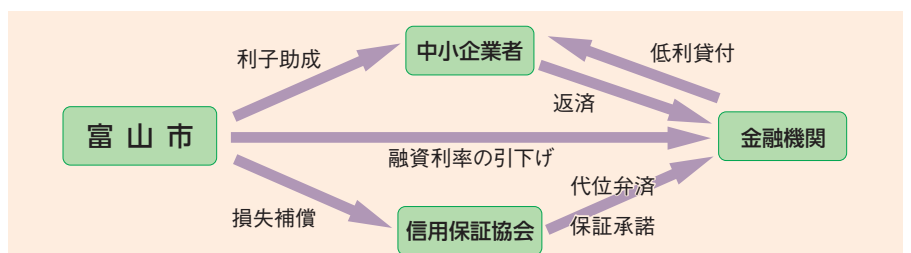
## 未来共創拠点施設「Sketch Lab(スケッチラボ)」

立場や世代の異なる産学官民が対話を重ね、未来のビジョンを共有し、新たなビジネスの創出や暮らしの課題の解決にチャレンジする「未来共創」を目的とした、会員制の交流・共創スペースです。産学官連携組織によって運営され、交流イベントやビジネスコンテスト、シビックテックなどの多彩なプログラムが開催されています。市のスマートシティ政策における企業の共創の場としても活用されています。



## 中小企業向け融資制度

富山市では、中小企業者の事業資金調達の手間を軽減するため、「運転資金」や「設備投資支援資金」、「創業者支援資金」など多様な用途に応じた融資制度を設けています。利子助成や損失補償を行うなど低利で利用しやすい仕組みづくりに努めており、多くの中小企業者に利用されています。



富山市では、利子助成等を行い、中小企業者の負担軽減に努めています。



## ▲ 農林水産物プロモーション推進事業

農業所得の向上や市内産農林水産物の知名度向上、市民が誇れる地場産農林水産物としての定着を目指し、国内外での多様な販路開拓など、市内産農林水産物のプロモーションの推進を図っています。

## ● 良質な森林の保全と活用

水源かん養や国土保全、CO<sub>2</sub>の吸収など公益的機能を持つ森林の再生を市民共有の課題と位置づけ、市民との協働による里山整備や企業との協働による森づくりに取り組んでいます。



## ● とやま楽農学園

富山市では、農業の多様な担い手として、非農家の方にも農業に携わってもらうため、「とやま楽農学園」を開講し、農家を支援する農業サポーターの育成に努めています。



## ● 地場もん屋

<https://www.siminplaza.co.jp/jibamonya/>

安全・安心で新鮮な地場農林水産物のPRと消費の拡大を図るために平成22年度にオープンした地場もん屋は、令和3年度に店内を改装し、リニューアルオープンしました。地産地消を推進する拠点として一層の賑わいを見せています。



牛岳温泉植物工場



エゴマ



給食として出されたエゴマハンバーグ

## ▲ エゴマの6次産業化

農業の6次産業化拠点「牛岳温泉植物工場」が平成26年3月に竣工。温泉熱や太陽光発電、LED照明などを活用した完全人工光型植物工場で、有用な成分を豊富に含むエゴマ(シソ科)の生産、加工、販売までを一体的に行うことにより、新産業の創出など地域の活性化につながっています。

## ● とやま花Tram・花Busキャンペーン

花で潤う街の創出を図るため、指定の生花店で花を購入し、花を持って市内路面電車や一部のバスを利用する場合に乗車運賃を無料とする「とやま花Tram・花Busキャンペーン」に取り組み、華やかで明るい空間を演出しています。



## ● 富山市公設地方卸売市場

富山湾は、天然のいけすと呼ばれ四季を通じて豊富な種類の魚介類が水揚げされます。富山市公設地方卸売市場では、富山県内をはじめ、全国から集荷した新鮮な魚介、青果、花きの取引が行われています。



## ● プチマルシェ

フランス語で“小さな市場”という意味の地場農産物市場「プチマルシェ」では、市内の農家や生産組織が、その日の朝にとれた新鮮な野菜や果物、山菜、切り花などを軽トラックに積んで富山駅南口で販売しています。年に6回程度開催し、生産者と買い物客の会話が弾み、賑わいを見せています。



# 新しい富山を創る協働のまち。



## ふるさと富山美化大作戦

例年8月に市内全域で、まちの環境美化を推進するため地域住民やボランティア団体、企業の方々の協力を得ながら清掃活動を行っています。

## 森林ボランティアとの連携



多様な森林ボランティア組織と行政が連携を図り、豊かな森づくりに取り組める仕組みづくりを行っています。

## みんなの力をあわせて 未来のまちづくり

市民が一齐に道路歩道等の美化清掃に汗を流すことで、市民としての一体感を感じたり、富山の特色である豊かな自然を守り、再生させる活動を行う市民組織の設立など、市民と行政が協働して、さまざまなボランティア活動を通し、美しい街として全国に誇れる富山の実現を目指しています。

## タウンミーティング



市民に市の施策等を説明し、意見を交換するためのタウンミーティングや、市長が市民の会合や集まりに出向き、市政に関する説明を直接行う市長の出前トーク。市政に関する相互理解を深めています。

## 市役所出前講座



市職員が市民の会合に出向き、行政情報などを説明。介護や子育てなど、172講座(令和6年1月現在)を用意しています。

## 国際交流の推進

国際社会への市民の理解を深め、市民による様々な国際交流活動を推進しています。また、次の4カ国の都市と姉妹・友好都市を結んでいます。



友好都市  
**秦皇島市** 中華人民共和国・河北省

友好都市締結調印の日  
1981年(昭和56年)5月7日  
人口 約3,130,000人 主な産業 ガラス産業  
面積 7,813km<sup>2</sup> 機械製造業  
ビニール産業



秦皇島市の観光地「老龍頭(澄海楼)」



ダーラム市の「デューク大学」



姉妹都市  
**ダーラム市** アメリカ合衆国・ノースカロライナ州

姉妹都市提携調印の日  
1989年(平成元年)6月13日  
人口 約284,000人 主な産業 保健・医療関連産業  
面積 286km<sup>2</sup> ハイテク産業



姉妹都市  
**ダボリージョナル・カウンシル** オーストラリア連邦  
ニューサウスウェールズ州

姉妹都市提携調印の日  
1992年(平成4年)8月24日  
人口 約55,000人 主な産業 農畜産業  
面積 7,536km<sup>2</sup>



ダボリージョナル・カウンシルの「キャメロン公園」



モジダス・クルーズ市の「オマルコ広場」



姉妹都市  
**モジダス・クルーズ市** ブラジル連邦共和国  
サンパウロ州

姉妹都市提携調印の日  
1979年(昭和54年)11月8日  
人口 約456,000人 主な産業 機械金属製造業  
面積 713km<sup>2</sup>

# 市民の安全を守り危機にそなえるまち。



## ▶ 防災対策

大規模な災害を想定した総合的な防災訓練を毎年各地域で実施しています。訓練には消防職員のほか、普段は様々な仕事に就いている消防団員も多数参加しています。



大沢野消防署は、市民の方々を対象とした救命講習や防火研修会が行える研修室を設けています。また、複雑多様化する災害に対応できるよう各種訓練施設を整備しています。

## 地域と行政の連携で 市民の生活を守る

地震や台風による水害などの自然災害をはじめ、あらゆる危機に対応する体制の整備をすすめ、市民が安全に暮らせるまちづくりを進めています。

## ● 富山市LINE公式アカウント

令和5年8月から、迅速な情報発信やオンライン申請・予約による市民の利便性向上を目指し、富山市LINE公式アカウントの運用を始めました。現在、次のような機能を備えており、今後も機能を拡大していく予定です。

### 【情報配信機能】

- 災害・緊急情報配信サービス
- テーマ別情報提供サービス  
(防災、イベント、子育てなど)
- ごみ収集日通知サービス
- クマ出没情報通知サービス

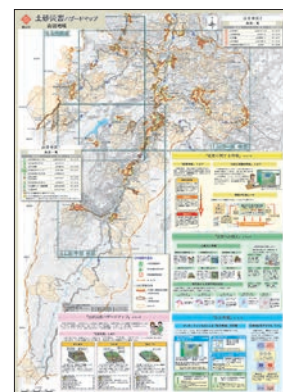
### 【オンライン申請・予約機能】

- 住民票の写しなどの交付申請
- 市民課などの窓口の予約
- 子育てに関する講座の予約
- 犬に関する申請
- 水道使用開始・中止申請



## ● ハザードマップ

国が示す「土砂災害ハザードマップ作成ガイドライン」が改訂されたこと等を受け、「富山市土砂災害ハザードマップ」を令和4年度に更新しました。このほか、「富山市地震防災マップ」、「富山市津波ハザードマップ」、「富山市洪水ハザードマップ」、「富山市内水ハザードマップ」があります。



## ● 「松川雨水貯留施設」の整備

大雨の時に一時的に雨水を貯め、中心市街地の浸水被害の軽減などを図るため、基幹施設となる松川貯留管(延長約1.1km、直径約5m)や雨水幹線などの整備を行いました。



## ● 除雪作業

市民生活や経済活動を維持するために欠かすことができない除雪作業。冬期間の安全な道路交通の確保に努めています。

